第55回 科ノ葉祭 ファッションショー 万華鏡

7月13日～14日

三年E組　三井　涼花

今回のテーマ「万華鏡」には、「E組1人1人の色が重なり作り出す輝きは二度と同じものにはならない。そんな一瞬一瞬の移りゆく美を見てほしい」という思いを込めました。

ファッションショーに向けて2年生の秋から活動を始めました。その頃は、まだまだ先のことで全く実感がありませんでした。が、作品を作ったり、それぞれの係の仕事を進めたりするうちに「いよいよ私達のファッションショーなんだな」と思うようになりました。今年は体育館が新しくなってから初めてのファッションショーでした。これまでとは違い最初はとまどうことばかりでした。それに加えて、部活や委員会など同時に進めていかなければならないこともあり、不安やあせりで何度も逃げ出したくなりました。その度に皆で協力し合い、たくさんの方々に助けていただきながら頑張ってきました。

ファッションショー当日、とても緊張しましたが私達らしさを一二〇%出せたショーになったと思います。

このショーを通して、どんな時でも支えてくれる仲間の大切さ、辛くても諦めない気持ちを学びました。

私達を支えて協力してくださった皆様本当にありがとうございました。

一月二十六日には、学習成果発表会があります。服飾科での三年間のまとめになるような発表にできるように頑張っていきたいです。

いつもながら華やかなファッションショー

諏実ショッパーズ ショッパーズを終えて

第十四期代表取締役社長　渡辺　恵里奈

まず初めに、今回ショッパーズに関わってくださった皆さん本当にありがとうございました。取締役を代表してお礼申し上げます。今年のショッパーズは何も分からないゼロからのスタートとなり、取締役一同本当に手探りの状態でやりましたが、結果成功という形で終わって良かったです。成功と言っても色々な行事が重なり売り上げは思う様にいきませんでした。しかし、私達が立てた目標の『ご来場して下さった全ての人々に笑顔で帰ってもらおう』という部分が達成出来たので良かったのではないかと思います。

今年は、『6輪ビック～6市町村の想いを込めて～』をスローガンとし、今回ショッパーズ一番の目玉ブースとした、6市町村・地域セレクトを行いましたが、本当に各市町村さんのバックアップの元、成功することができ、来年もコーナー化してもらえるとのことで、頑張ったかいがあったなと思いました。

本当に苦しかった事楽しかった事たくさんありました。何度も挫けそうにもなりました。しかし終わってみて今役員も私自身もショッパーズに関わった全ての事が自分にプラスとなり、一つ一つが良い思い出となりました。私は本当に何も分からず頼りない力不足な社長でしたが、私を支えてくれ協力してついてきてくれた取締役のみんな、文句一つ言わずに動いてくれた主任、副主任のみなさん、生徒のわがままに最後までつきあってくださった先生方本当にありがとうございました。来年は、今年以上のものになる様、一・二年生の皆さんは頑張って下さい、期待しています。

同窓会研修旅行
世界遺産中尊寺・毛越寺と松島への旅

昨年の東日本大震災から早や一年と七ヶ月が過ぎました。未だ復興が思うように進まない様子である東北を自分の目で確認し少しでも消費支援をとの思いから東北への計画を十月十九、二十日に実施し三十五名の方々にご参加頂きました。

和田峠を越え佐久インターより上信越・東北自動車道を直走り午後二時半頃中尊寺へ到着。奥州藤原氏初代清衡公により営建された世界遺産、中尊寺金色堂を拝観しました。堂全体を金箔で覆い、背金色の極楽浄土、内陣の螺鈿細工、蒔絵などの漆工芸や彫金での仕上げは荘厳さとともに平安仏教美術に魅了されたひと時を過ごさせて頂きました。続いて特別史跡、名勝毛越寺の大泉ヶ池を中心とする浄土庭園を拝観し、今日の宿泊ホテル大観荘に到着しました。

休息後楽しい宴会となりました。ジャンケン大会、カラオケ大会で大盛り上がりでした。

翌日は五大堂と瑞巌寺を拝観。本堂は修理中のため拝観出来ませんでしたが、庫裡・大書院・寶華殿・洞窟仏を拝観し荘厳な雰囲気を味あわせて頂きました。続いて、日本三景松島湾遊覧を塩釜港まで楽しみました。

昼食・買い物後帰途へ。途中、東北大震災により大きな被害となった名取市閖上住宅地域を車内から見学し、建物が何にも無くなりコンクリート基礎が残っているのみで雑草が生え一面野原になっているのを見てどうやって復興していけるのか、政府は把握しているのか、復興予算は何処へ行ってしまっているのか、党利党略で国会は動かない。気の毒やら腹立たしいやらの気持ちで見てきました。

予定より若干遅れの到着でしたが無事帰って来ました。

（文化部　藤澤　記）

諏訪実業高校研修旅行　H24.10.19　於：中尊寺金色堂

校だより パソコン部（ワープロ）
全国大会を終えて

久保田みゆき

春にあった大会で個人三位という結果をいただき、個人の代表で全国大会へ行くことが出来ました。

全国大会では、各都道府県の団体・個人の代表の人達が集まっていました。一室に四十七人が十分間で何文字打てるかを競いました。

緊張のせいか、競技はあっという間に終わりました。張り詰めていた空気の中、何度も打ち間違いをしたことだけはっきりと覚えていました。

結果はあまり良くなかったものの、全国大会では様々なことを学ぶことが出来ました。ほとんどが三年生で、この三年間を振り返り泣いている人も居ました。二年後もう一度この場で、次は私達がそうなりたいです。

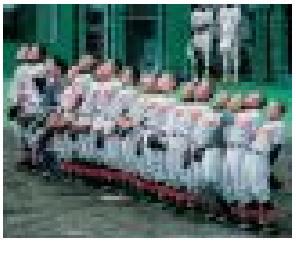
校だより 野球部16強
歓喜！エビ反り校歌 伝統と共に

野球部監督　吉村　恭弘

日頃は母校また野球部に対しましても、温かいご支援とご協力をお寄せいただきありがとうございます。

本校の監督として5年目を迎えた今夏の長野県大会では、五十年ぶりとなるベスト16という結果を残すことが出来ました。

同窓会はもとより、野球部OB会等の皆様のご協力の賜物であると、心から感謝申し上げます。五十年ぶりということは私自身も関係者から聞かされ初めて知りましたが改めて諏訪実の伝統の深さを実感しております。



校だより ボート部
北信越大会に出場して ～これからの部活動

二年E組　小松　美樹

北信越大会を終えて県外の選手の人たちと戦い改めて自分の実力の弱さを痛感しました。しかし、そういう思いをした分もっともっと強くなりたいと思いました。そのために、日頃の練習をしっかりして部員も増えたのでもっと良い成績を出せるように頑張りたいと思います。

この北信越大会で多く残った課題を一つ一つなくしていき、次の大会に活かせるように努力していきたいです。

それと同時にボートのことをもっと良く知ってもらい部員を増やし顧問の先生・コーチとも協力して、より良い部活動にしていきたいと思います。

組織の充実と在校生支援強化 上條会長退任

5期10年にわたって同窓会長を務めた上條弘義さんが5月の総会で退任された。上條さんは南諏支部（富士見・原地区）をしっかりしたものにし、副会長、監事、常任幹事に欠員がでた時はできるだけ早く補充しました。また在校生に対する支援に常に気を配り部活動補助金を新設し、全日制の校友会補助費と定時制振興費を増額してきました。

野球部の夏の県大会や駅伝の県大会にも応援にかけつけました。また会員の訃報には気をつけ、関係者に連絡をくれました。永い間ご苦労様でした。今後とも同窓会のためにご尽力ください。

（上原郁夫）